



発行所 公益財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 安 満 真 哉

二〇二四年 全国統一防火標語 守りたい 未来があるから 火の用心



# 令和六年 春の叙勲(消防関係) 二三名が受章

令和六年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。

叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六二七名、うち兵庫県では、元消防吏員・元消防団員あわせて二一名が叙勲の栄に浴されました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に對して、率先して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでの功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、令和六年五月一〇日(金)に東

京都千代田区の合同庁舎第二号館地下二階講堂にて執り行われました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。(敬称略)

(全国消防関係受章者数)	
瑞宝中綬章	一名
瑞宝小綬章	三五名
旭日双光章	四名
瑞宝双光章	一一六名
瑞宝単光章	四七一名
計	六二七名

兵庫県下受章者(消防功労) 瑞宝小綬章 元北はりま消防組合 消防正監 岸本 耕一

元神戸市 消防司監 嶋 秀穂

◎瑞宝双光章 元明石市消防団 団長 安達 哲哉 元豊岡市豊岡消防団 団長 太田 克己

◎瑞宝単光章 元高砂市消防団 分団長 石原 勝広 元高砂市消防団 団長 伊藤 定雄

元丹波篠山市消防団 団長 田畑 幸生 元豊岡市城崎消防団 副団長 中井 博文 元洲本市消防団 団長 中原 章晴 元宝塚市消防団 分団長 二井 久和 元香美町消防団 団長 西村 功 元明石市消防団 副団長 橋本 敏光 元尼崎市消防団 分団長 樋口 勝朗 元洲本市消防団 分団長 不動 方義 元姫路市安富町消防団 副団長 細野 雅一 元西宮市消防団 分団長 森本 安雄 元神戸市垂水消防団 副団長 八木 耕一 元姫路市飾磨消防団 分団長 吉田 達生



## 第四二回危険業務従事者叙勲が 令和六年四月二十九日に発令

### 二三名の兵庫県下 元消防職員の皆様が 消防功労関係で受章

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。 今回の叙勲の伝達式は、令和六年五月一三日(月)に東京都千代田区の合同庁舎第二号館地下二階講堂にて執り行われました。

(全国消防関係受章者数)	
瑞宝双光章	三一九名
瑞宝単光章	三〇六名
計	六二五名

兵庫県下受章者(消防功労) ◎瑞宝双光章 元西はりま消防組合 消防監 植田 敏明 元明石市 消防司令長 上谷 節雄 元美方郡広域事務組合 消防司令長 植村 博昭 元川西市 消防司令長 河合 照宏 元三田市 消防司令長 北脇 廣文 元神戸市 消防監 木下 士郎

◎瑞宝単光章 元宝塚市 消防司令長 市場 通行 元芦屋市 消防司令 今石 佳太 元南但広域行政事務組合 消防司令 谷口 和幸 元姫路市 消防司令 長濱 洋 元西宮市 消防司令長 安居 秀幸

元小野市 消防司令長 近都登志人 元北はりま消防組合 消防監 小林浩太郎 元神戸市 消防監 辻 正 元加古川市 消防監 友定 眞 元猪名川町 消防司令長 野口 優 元神戸市 消防監 波方 宏彰 元西はりま消防組合 消防監 前川 明 元豊岡市 消防監 松岡 勇人 元神戸市 消防正監 水島 隆 元伊丹市 消防監 山下 正実





# 令和六年度 安全功労者総務大臣表彰



安全功労者総務大臣表彰 総務大臣とともに記念撮影



松本総務大臣から代表受領を受ける谷勝公代氏

兵庫県内受賞者  
○安全功労者総務大臣表彰  
(個人) 谷勝 公代  
(団体) 東山地区防災福祉コミュニティ  
尼崎製罐株式会社武庫川工場

(全国受賞者数)  
安全功労者表彰  
(個人) 二三名  
(団体) 一〇団体

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という趣旨のもと、消防職員や団員を除く個人・団体を受賞対象として行われている表彰です。  
受賞式については、令和六年七月一日(水)に東京都千代田区合同庁舎第二号館地下二階講堂にて盛大に執り行われました。  
なお、全国の受賞者数及び県内の受賞者名は次のとおりです。  
(敬称略)

あなたもなれます  
守られる人から、  
守る人へ

ひょうごの消防団 消防団員募集

企業之力、  
まちのために。

ひょうごの消防団 消防団員募集



# 第四三回

## 全国消防殉職者慰霊祭 並びに

### 「ありがとう！」 新日本消防会館

#### 完成記念大会」の開催

##### ニッショーホールにて

かねてから建設が進んでおりました日本消防会館がこのほど完成し、一〇月三日（木）、当会館のニッショーホールにおける初の公式行事として、第四三回全国消防殉職者慰霊祭が厳粛に執り行われました。

昭和五七年以来、毎年、全国消防殉職者慰霊祭が行われており、本年は三柱の御霊が新たに合祀され、明治五年からの消防殉職者等の御霊は、五、七九〇柱となったとのこと。

兵庫県からは消防協会 安満会長・岸谷名誉会長とともに



慰霊祭の様子

に、神戸市並びに宝塚市の二組五名のご遺族が参列され、故人を偲ぶ良い機会に恵まれました。



安満会長（日本消防協会副会長）による閉会あいさつ

同日午後からは、新会館建設にあたり協力を求めた消防関係者に披露するため「ありがとう！」 新日本消防会館完成記念大会」が開催されました。

主催者・来賓のご挨拶の後、祝賀会では消防団の歌が披露されることとなり、近畿地区を代表して淡路市消防団が登場し、「淡路市消防団団歌」を消防団員だけでなく門康彦・淡路市長も共に熱唱され、会場からは大きなどよめきが



「淡路市消防団団歌」の熱唱

起こるとともに大いに盛り上がりました。

最後には締めくくりとして、新しい日本消防会館の完成を祝うとともに、日本消防の総合的中核拠点として最大限活用し、国民の生命財産を守り抜く消防の使命達成のため、日本消防の一層の充実強化、益々の発展に全力を尽くすため、「新会館、日本消防の一層の発展へ」宣言が会場で決議され、大会は盛会のうちに閉幕しました。

## 新日本消防会館概要

新しい日本消防会館は、屋上に全国消防殉職者慰霊碑が安置されているほか、主要な消防関係団体が多数入居するとともに、一階に防災活動の一層の充実に関連する幅広い情報を提供することを目的とした日本消防防災情報センター、二階にはニッショーホールホワイエと会議室があ

り、三〜五階はニッショーホールとなっております。

なお、旧日本消防会館の一階に設置されていた赤穂義士にまつわる「洗足の井戸」に代わるものとして、江戸見坂テラス側の壁面に「赤穂義士本懐を遂げ自訴す」と題した記念碑が新たに設置されています。



赤穂義士記念碑



全国消防殉職者慰霊碑



ニッショーホール



日本消防会館全景



周辺地図

- 建物概要
- 所在地…東京都港区虎ノ門二丁目九番一六号
- 敷地面積…一、九二五・七〇平方メートル
- 建築面積…一、四二一・九五平方メートル
- 延床面積…一六、三五六・五七平方メートル
- 階数…地上二四階、地下二階、PH一階
- 建物構造…地上S造、地下SRC・RC造、
- 制震構造（高性能オイルダンパー採用）
- 防災対応…帰宅困難者受入れ（六〇〇人）※備蓄食料、飲料水、トイレ等
- 一階情報センターでの地上波情報提供
- 非常用発電機（七十二時間電力供給）
- モバイル通信機器充電対応 ほか
- 竣 工…二〇二四（令和六）年八月





# 令和六年度兵庫県女性消防団員

## 技術研修会 開催！

公益財団法人兵庫県消防協会

令和六年八月二十五日(日)、女性消防団員技術研修会として「ドローン操作講習会」を、県立広域防災センター消防学校において、開催いたしました。

ドローンは大規模災害に限らず、常時発生する災害に対しても俯瞰的な視点で情報収集を行うことが可能であり、災害対応に有用であることが確認されており、近年消防団に対する国庫補助事業の補助対象にドローンが追加されるなど、災害現場におけるドローンの活用促進に向けた取組が進められています。

今回は講師に国土交通省登録講習機関「株式会社てんと線」代表取締役 折戸 宏次氏



「株式会社てんと線」代表取締役 折戸 宏次氏

次氏にお越しいただき、基礎講習と実技講習を行っていただきました。

基礎講習では、災害現場での活用事例、ドローン関係の法制度、ドローン操作方法について学び、実技講習では四班に分かれ、離陸/基本操縦/着陸といずれかを体験操作いただきました。

研修会後のアンケートでは「実際の操作ができてよかった。今後の活動で必要になった時に積極的に動きたい」などのご意見をいただきました。

ドローンの災害現場での活用はまだまだこれからですが、女性消防団員の活動の幅が広がってほしいと思います。



中嶋事務局長挨拶



ドローン実技講習の様子



ドローン水中用点検機 (展示)



ドローン実技講習実機





「全国へ発信 わがまち」

わが神戸市長田消防団！

神戸市長田消防団

神戸市長田区（人口九二、六八一人、面積一・三六平方キロメートル）は、神戸市の中南部に位置し、神戸市全九区のうち人口密度は最大、面積は最小の区です。

阪神・淡路大震災では大規模な火災が発生し、商業地や住宅地が消失するなど甚大な被害があった地域ですが、平成二一年には長田区にゆかりある漫画家・横山光輝氏の代表作『鉄人二八号』の巨大像が新長田駅前新たな地域の顔として誕生し、令和元年には「新長田合同庁舎」（県市合同庁舎）が竣工されるなど、全国へ復興の発信をし、現在に至っています。

長田区は、神戸「履き倒れの街」を象徴するケミカルシューズ産業が盛んな地域で、神戸三大神社の一つとされる長田神社があります。また、牛すじとこんにやくを煮込んだ「ぼっかけ」と、ネギをうどんに乗せた「ぼっかけうどん」や「そばめし」も長田区が発祥の地と言われ、庶民的で中小企業の多い下町情緒溢れるまちです。

神戸市長田消防団の構成は、八つの分団、九箇所の詰所を拠点に現団員一四五名により、平常時には各分団において、放水訓練、ポンプ点検、救急講習指導、地域訓練指導など

多岐にわたって活動し、火災時には消防隊と連携した、救助、救急活動、避難誘導、警戒区域の設定、群衆の整理などの活動をしています。

また、風水害、地震などの大規模災害時には、消防団員が地域防災の中核として、災害防衛活動に非常に大きな戦力となっています。

活動の紹介

【消防団員入団促進パンフレット制作プロジェクトチーム発足】

全国的に人口減少と高齢化が進む中、わが神戸市長田消防団では消防団の充実強化を図るため、消防団員の入団促進に関する方策について検討する入団促進検討プロジェクトを発足しました。その結果、入団者が増加してまいりました。消防団を知ってもらおうが、消防団を知らないとの団員からの要望で、入団促進パンフレット制作プロジェクトチームを発足することにしました。



入団促進パンフレット



心肺蘇生法の普及広報

「活動の質の維持、技術の向上を目指して」

西脇市消防団

西脇市は兵庫県のほぼ中央部、東経一三五度と北緯三五度が交差する「日本列島の中心・日本のへそ」に位置しており、東西約一九キロメートル、南北約一三キロメートル、面積は一三二・四四平方キロメートルで兵庫県面積の約一・六パーセントを占めています。

めざすべき都市像を「人輝き 未来広がる 田園協奏都市」と掲げ、誰もがいきいきと活動し、心の豊かさが実感できるまちづくりをめざしています。古くから「播州織」や「播州釣針」を地場産業として栄えており、神戸ビーフの素牛となる「黒田庄和牛」や酒造好適米の代表である「山田錦」など、選びきれないほど魅力的な特産品が数多くあります。

【西脇市消防団について】 西脇市消防団は、七分団で構成され八五三名の団員が「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護の精神に基づいて活動しています。主な取り組みとして、各分団の定期的な各種訓練や、各種防災関係団体との連携訓練を重点に日々取り組んでいる

平成三二年に入ってから、神戸まつり長田区フェスティバルに出場して、お子様からお年寄りまで区民の皆様と一緒に楽しく心肺蘇生法の一連の手順を、簡略化して覚えられるよう制作した長田救命体操を用いて心配蘇生法の普及啓発に努めています。

とあります。

また、より実践的な活動技術の向上を目指し、隔年で実施している市消防実践操法大会は西脇市消防団として力を入れていくところです。

昨年度は、団員負担軽減検討会議を開催し、上位消防操法大会の出場は、選択制を取りました。消防操法訓練の減少分を各部での訓練や分団合同訓練を増やすとともに、消防署との連携訓練も多く取り入れ、活動の質の維持、技術の向上に努めています。

【訓練について】

全体訓練として、新部長訓練、新人団員訓練及び機関員

講習を毎年実施しており、これらの訓練等を通じて分団を超えた顔の見える関係を構築し、災害活動時の連携につなげていきます。

また、春と秋の火災予防運動に伴い、各分団持ち回り方式で隣接分団との合同訓練を実施し、山林火災等での連携強化に努めています。

ほかにも自主防災会が実施する訓練への参加や、普通救命講習会の受講を積極的に

行っています。

【最後に】 消防団の火災予防啓蒙活動と市民の防火意識向上により、西脇市の火災件数は昔と比較して大きく減少しています。

大変喜ばしいことであると同時に、団員の現場経験が少なく活動レベルや危険予知力の低下が懸念されますが、今後も日々の訓練を重ね、西脇市の安全安心なまちづくりに寄与する所存です。



消防大会



山林火災訓練



実践操法大会

われら若手消防団員

～消防団に入って～



豊岡市但東消防団 団員 水縄 誠

就職が決まり、地元に戻ってきた二年ほどたった頃、近所の消防団員の方に声を掛けられ、軽い気持ちで入ることになって、早いもので一〇年以上経過しました。消防団の活動について、あまり理解していなかった私にとっては出初や、操法大会などはなかなかインパクトのある経験でした。また、消防団に参加している全ての人がプライベートな時間を消防団活動に少なからず費やして、地域の安全に貢献していることをこの時初めて理解しました。

しかしながら、本当の意味で消防団の重要性を理解していなかったと痛感したことが起こりました。それは私の実家の火災でした。この火災で家は全焼し、祖父と父が亡くなりました。深夜二時ごろのことで、私が発見し通報しました。その際、まず一九の番号が咄嗟に出てこず、家の番地が思い浮かばない、状況が説明できないなどパニックに陥ったことを今も鮮明に覚えています。その後、近所の方や消防団、消防署の方たちに消火活動をしていただきました。本当にありがとうございました。私がお伝えしたいことは、消防団は大変な活動ですが、必要としている人間がいるということです。火災や災害はこちらの備えだけでは防ぐことができません。その際に協力して助け合う活動が、消防団であると思います。



# わが町の団長さん

## 「防災力向上を 目指して」

市川町消防団長

品川 太志



市川町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型をしたまちです。町の中央部を清流市川がとうとうと流れ、穏やかな川面に、田園と山並みが映ります。市川町消防団は昭和三〇年に発足し、現在は一団二六分団、団員数は四〇〇名となっております。

品川団長は、平成一七年に入団され、副団長を務められた後、令和六年四月に団長に就任されました。令和六年度の重点努力目標として『地域防災力の要となる消防団』を掲げられ地域とのコミュニケーションを密に取ることを意識して活動され、火災・災害・地震の災害対策にも地域の方々の情報を共有して迅速に対応出来るよう、消防団と地域住民の合同訓練を重視し実施されています。有事の際には団員をまとめ、的確な指示を出されるので皆からの厚い信頼を寄せられています。昨年度より取り組まれた町内四小学校の避難訓練の参加を引き継がれ、未来の消防団員確保と消防団PRに力を注がれています。避難訓練では、放水体験やポンプ車の乗車体験等を実施

され好評を得ています。最後に「皆さんが大きくなったら地元の消防団に入って下さい」と訓練を締められています。品川団長が就任されてから早や四か月が過ぎましたが、これからも益々ご奮闘していただき、市川町消防団を牽引し、災害から町民の生命・財産を守るリーダーとしてのさらなる活躍が期待されています。

## 「地域と団員の 安全・安心を守る」

朝来市消防団長

足立 守広



朝来市は兵庫県のほぼ中央部に位置し、京阪神や山陰地方から鉄道、高速道路等を利用しておよそ一時間半から二時間と、古くから交通の要衝の地にあります。朝来市消防団は、朝来市の誕生とともに発足し、現在は四支団、三〇分団、団員数八五二名で活動しています。来年度は、朝来市消防団が発足してから、二〇年の節目迎える年でもあり、市民の安心・安全を守るうえで、さらなる消防力の充実化と防災意識の向上を図っていききたいと考えます。

そんな八五二名の団員を束ねる足立団長は、平成元年に消防団に入団され、的確な判断力と素晴らしい統率力が認められ、令和六年四月に第七代朝来市消防団長に就任されました。長年、自営業として自動車整備を営まれており、その研ぎ澄まされたプロの目と技術により、消防車両の不具合早期発見につながったことも一度や二度ではありません。整備に使用される小さな部品や工具は、その役目を終えるまで丁寧に扱われ、整備される車両一台一台に、真心を込めて対応される姿は、団員一人ひとりを大切に、一つひとつの災害に真摯に向き合い、「地域の安全は自分たちが守る」という「使命感」にも通ずるものがあると思います。近年、消防団員の確保が難しい状況になりつつあり、一方で頻発化、激甚化する災害により消防団への期待が日増しに高まる中で、消防技術の向上、予防消防、人材育成などといった活動に加え、社会環境の変化に対応していくことは大変なことではあります。が、地域の安全・安心のため、火災の無い、災害に強い朝来市を目指して邁進されています。

## 「災害に強い消防団に」

宝塚市消防団長

蔵本 直文



宝塚市は、県南東部に位置し、市域は南北に細長く、宝

塚歌劇や阪神競馬場のほか、住宅地が広がる南部市街地と豊かな自然に囲まれ、田園風景が広がる北部農村地域に分かれています。

宝塚市消防団は、昭和二九年四月、宝塚市の誕生とともに発足しました。昭和五〇年には、南部市街地の常備消防力拡充に伴う消防団組織の改編を行い、現在は、北部農村地域を拠点として、一〇分団一六三名、機能別消防分団一二名で活動しています。

蔵本団長は、昭和六一年に入団され、平成二三年から副団長を務め、令和五年一〇月に消防団長に就任されました。普段は管工事業や水道施設工事業などの会社を営んでいますが、団長に就任されてからは、自身の仕事を減らし、消防団活動のため尽力されています。

いつも笑顔絶やさず、温厚で周りへの気遣いが抜群の蔵本団長は、団員からの信頼は厚く愛される存在です。災害も多種多様化していく中で、高齢化が進み、団員確保に難しい状況ではあります。が、蔵本団長が就任してからは、災害に強い消防団を作り上げるため、林野火災の訓練や倒壊家屋からの救出救護訓練などを実施しました。今後、宝塚市消防団一丸となって、各種災害対応能力の向上に努めていきます。



## 「地域に寄り添う 消防団員を目指して」

明石市消防団

こんにちは。明石市女性消防団女組（めぐみ）です。

私たちの住む明石市は兵庫県の南部に位置しており、瀬戸内海に面した豊かな漁場では、鯛やタコがたくさんどれ、明石焼きが有名です。市の東部には自慢の天文学館があり、日本の時間を決める基準となる、東経一三五度日本標準時子午線が通っています。

さて、私たち女組が明石市消防団で五〇番目の班に任命されたから一一年が経ちました。私達の主な活動の一つとして、毎年の出初式や行事での司会進行があります。コロナ禍を経験し、毎年決まった行事を継続して開催できることの大切さを知りました。

また、有事の際には市民の皆様の一歩近くで寄り添える存在になれるよう、地域行事（夏祭りやとんど等）にも積極的に参加し、地域の皆様とともに笑顔で過ごせる時間を大切にしています。夏祭りでは男性団員と一緒に子ども達に水消火器の使い方指導してい

ます。楽しみながら学ぶ子供たちの笑顔を見て、消防団員として守るべきものが何かを実感します。今年の四月から新たなメンバーも加わり、インストラクターを取得している団員も初心に戻り、女組で市民救命講習を学びました。救命の連鎖同様、止めることなく絶え間なく活動をしていきたいです。今後まだまだ活動の幅を広げていきたいと思っています。

# がんばってます、 女性消防団員



市民救命士講習